

2026 年 9 月 14 日

報道関係各位

アート & デザインで新たな文化資源を創出する 2026 年も観光経営人材育成講座を開催

武蔵野美術大学（所在地：東京都小平市/学長：樺山祐和 以下、本学）が開発している「価値創造人材育成プログラム（Value Creation Program）」（以下、VCP）を、観光経営事業者を対象として開発・展開したプログラム「VCP for TOKYO Tourism 2026」を開講いたします。

A promotional poster for the 'VCP for TOKYO TOURISM 2026' program. The poster has a white background with a thick, multi-colored border (yellow, green, blue). In the top right corner is the MUU logo and '武蔵野美術大学'. In the center left is the 'VCP FOR TOKYO TOURISM' logo, which includes a stylized city skyline. To the right of the logo is the text '美大で観光を学びませんか？' (Don't you want to learn about tourism at a university of art and design?). Below this, it says '全 6 講座 無料！' (All 6 lectures free!) and '2026 年 11 月 10 日～2 月 2 日' (November 10, 2026 ~ February 2, 2026). A small note below the dates says '※講座終了後、任意で 2 日間の伊豆大島フィールドワークを開催予定' (After the lecture ends, a 2-day Izu Oshima fieldwork is planned). At the bottom right is a link '▶ 詳しくはこちら' (Click here for more details).

東京都「大学等と連携した観光経営人材育成事業」

MUU
武蔵野美術大学

VCP
FOR TOKYO
TOURISM

美大で観光を学びませんか？

全 6 講座 無料！

2026 年 11 月 10 日～2 月 2 日

※講座終了後、任意で 2 日間の伊豆大島フィールドワークを開催予定

▶ 詳しくはこちら

2024 年度から開講した本講座は、美術大学の「創造性教育」を活用し、デザイン経営の観点から顧客に響くブランド作りとイノベーションについて考える実践型のプログラムです。人・社会・自然を捉え直し、観光に繋がる新たな価値を創出する力と持続性が高いビジネスエコシステムを構想する力を身に付けていきます。

また、2025 年度に実施した伊豆大島での実践型のフィールドワークを、本年度も実施予定です。受講者を対象とした任意参加プログラムとして、東京都・伊豆大島にて 1 泊 2 日の日程で実施します。離島という環境で地域の風土や暮らしに触れる体験は、都市部の日常では得られない視点や感覚をもたらします。火山島ならではの景観や自然、地域との交流を通じて現地の魅力を身体的に感じることは、固定観念を問い直し、新たな発想を生み出す機会となります。

本フィールドワークでは、そうしたリアルな体験を通して、観光やサービスの価値をあらためて捉え直し、講座で学んだ観光サービスデザインの実践につなげていきます。



過去の開催風景

■開催概要

プログラム名：VCP for TOKYO Tourism 2026 観光のリフレーム

開催日程：2026年11月10日（火）～2027年2月2日（火）

＊上記期間内で全6講座（1講座150分程度）

フィールドワーク（任意）@伊豆大島 2027年2月27日（土）・2月28日（日）

会場：武蔵野美術大学 市ヶ谷キャンパス7階 コワーキングスペース「Ma」
伊豆大島（東京都大島町）

参加費：無料

＊DAY5の移動経費と食費、および伊豆大島でのフィールドワークに係る渡航、宿泊、食事は参加者負担

対象者：次の要件をすべて満たす方

1. 観光関連事業等に従事（予定含む）する東京都内に在住または在勤の方
2. 文化資源、観光やまちづくりに興味のある方

定員：25名程度

募集期間：2026年9月14日（月）～2026年10月14日（水）

■オンライン説明会

講座の内容についてのオンライン説明会を開催します。ぜひお気軽に参加ください。

2026年9月28日（月）18:00～18:30

講座申込およびオンライン説明会の申込はこちらから

<https://vcp.musabi.ac.jp/tourism/>

■プログラム日程

DAY1 11月10日(火) 18:00-20:30

オリエンテーションとサービスデザイン概説

観光サービスにおいて、これまでのお客様像(＝不満を取り除く対象)という存在を脱・中心化して、新しい経験価値を生み出す共創パートナーに位置付け、地域社会を豊かにする観光の事業機会を探索する「サービスデザイン」について学んでいきます。

講師：武蔵野美術大学 造形構想学部 クリエイティブイノベーション学科 教授 丸山 幸伸

DAY2 11月24日(火) 18:00-20:30

文化を、未来の価値に変える一強く、美しいブランドのつくり方

地域には、まだ価値として言語化されていない文化や営みが数多く存在します。本講座では、そうした土地固有の文化を見つけ、磨き、未来へつながるブランドへと育てる方法を考えます。ブランドを広告や見た目ではなく「意思決定の積み重ね」と捉え、文化性・社会性・経済性をつなぎながら、長く愛される強く美しいブランドのつくり方を、国内外の事例と実践から紐解きます。

講師：株式会社 KESIKI 代表取締役 CDO、旭川市最高デザイン責任者(CDP)、
東北芸術工科大学客員教授 石川 俊祐

DAY3 12月8日(火) 18:00-20:30

アートから考える観光のリフレーム

AIや旅行Vlogの普及により、旅の目的は多様化し、その行程はパーソナルなものへと変わってきました。一方でパンデミック以降、インバウンドの急増はオーバーツーリズムを引き起こし、観光は地域住民の生活や経済格差、気候変動といった課題と無関係ではられません。風景や土地の文脈を捉え直してきた現代アートの発想が観光のまなざしをどうリフレームしうるのか、一緒に考えてみたいと思います。

講師：武蔵野美術大学 造形構想学部 クリエイティブイノベーション学科 准教授 石川 卓磨

DAY4 1月13日(水) 18:00-20:30

美的秩序と価値循環：観光経営を捉え返す一つのアプローチ

観光といっても、その人によって何を楽しむかには違いがあります。ただ、観光という行為が身体性をともなうことは明白です。しかも、享受する側(＝観光客)だけでなく、提供する側(＝観光地を構成する諸アクター)との相互作用がそこには必ず生じます。この点を手がかりに、美的秩序(aesthetic order)という概念を用いつつ、観光経営とはいったいいかなる営みであるのかについてみなさんと考えてみたいと思います。

講師：近畿大学経営学部 教授 山縣 正幸

DAY5 1月16日(土) 10:00-18:00

フィールドワーク&ワークショップ

これまでの座学によって得られた視点をもとに、都内のフィールドにて写真撮影や素描などのワークを経て気づきをまとめるまち歩き調査と、その視点をもとにしたサービスアイデアの機会について考えるワークショップを行います。

DAY6 2月2日(火) 18:00-20:30

講評

ワークショップの成果発表と、一連の学びを終えたフィードバックを相互に行い学びを定着させます。

DAY7・8 2月27日(土)～2月28日(日)

フィールドワーク@伊豆大島



昨年の様子



■「価値創造人材育成プログラム」(Value Creation Program : VCP) について

デザイン思考やアート思考といった特定の思考法にとらわれず、本学が約 100 年以上続けてきた造形教育で得た知見を最大限活用し、「創造的思考力」を涵養するとともに、多様な視点を調和・統合させることを通じて、新たな関係性を見いだすプログラムです。

■東京都「大学等と連携した観光経営人材育成事業」について

東京都では、観光関連事業者の経営力向上を図り、観光産業の活性化につなげることを目的として、大学等と連携して観光関連事業に従事する者等に向けた新たな教育プログラムの開発等の支援事業を実施しています。武蔵野美術大学は 2024 年度より連携大学に選定されています。

■武蔵野美術大学について



Musashino
Art
University
1929-2029
100th
美はつづく。

本学創立 100 周年事業シンボルマーク・コンセプト

2029年に100周年を迎える武蔵野美術大学は、1929年に創立された「帝国美術学校」を前身とし、「教養を有する美術家養成」「真に人間的自由に達するような美術教育」を教育理念に掲げ、幅広い教養と人間性を有する造形各分野の専門家を養成し、文化の創造発展と社会貢献に寄与してきました。

造形学部と造形構想学部の2学部、絵画、彫刻からデザイン、建築、映像、芸術文化、そして社会イノベーションまで、美術・デザインの広がりに対応する12学科を有し、大学院には造形研究科、造形構想研究科を設置しています。また70年以上の実績を持つ通信教育課程も設けています。日本を代表する美術・デザイン大学として、これまで社会に輩出した卒業生は7万7,000人に上ります。

造形活動を通じて身に付く、正解のない問をたて、探求し、答えを表現する能力は、今の時代にこそ最も必要とされています。卒業生は美術家、デザイナー、建築家、映像作家など、造形各分野の専門家として活躍するとともに、培った創造性、コミュニケーション能力が高く評価され、多くの業界で日本及び世界有数の企業へ就職し、重要な役割を担っています。

武蔵野美術大学 web サイト：<https://www.musabi.ac.jp/>

〈本件に関するお問い合わせ先〉

武蔵野美術大学 観光経営人材育成事業 担当：西

ichigaya_campus@musabi.ac.jp